

## イベント活動報告書

下記空欄に必要事項(参加状況、運営状況、懇親会等)を記入のうえ、活動実施後10日以内に参加者名簿・写真(集合写真.jpgを含み、2枚以上)を添えて、E-Mail・郵送・FAXで事務局宛に提出をお願い致します。  
(屋内サークルの場合、イベント名に記載は不要です)  
★本実施状況はホームページに掲載することがありますのでご承知おきください。

		報告者	菊池正美	
サークル名	埼玉会	発信日	2022年11月18日	
イベント名	第69回 秩父札所巡り「26番円融寺/27番大淵寺」散策			
活動日	2022年11月17日(木)	天候	曇り	
時間	13:00 ~ 16:00			
実施場所	埼玉県秩父市			
参加人数 <small>(下段：他地域会)</small>	会員	男：12名	女：5名	総計：17名
	京葉会：1名	西東京会：2名	神奈川会：名	非会員0名

### 活動状況

**1.運営状況**

13:00に秩父鉄道「影森駅」前に15名集合。徒歩にて「円融寺」に向かう。万松山円融寺は臨済宗(禅宗)の古刹で、江戸の中期に建てられました。本尊は聖観世音菩薩で以前は奥の院の岩井堂に安置されておりましたが、このお堂は無人で山の上にあることから、現在はここ円融寺の本堂に収められています。次は「琴平神社」に向かいましたが、この社は「昭和電工」の敷地内にあるため、入り口で守衛さんに通行の確認をして入りました。この琴平神社の創建年代は不詳ですが、天正5年(1577年)と記された碑が残されていることから、安土桃山時代には祀られていたと思われます。さて、この社は150段程の石の階段を登らなければ参拝できませんが、15名のうち5名は登るのを断念し、下で待機。喘ぎながら登ると、左手に奉納用の相撲の土俵があり、その先10段ほどの石段を上ると社がありました。この地は、斎所山の麓にあたり、この社の奥の院の地で武甲山を神と崇め、水乞いの神として琴平神をお招きしたと考えられ、熊野修験者が創建にかかわっているそうです。次に向かったのは、岩井堂の石段下。神社の右の山道を10分程登ると石段下に着く。ここから尾根まで200段程、この尾根上の左100段程の所に小さく見えるのが岩井堂である。この石段下まで皆さんをお連れしましたが、はるか彼方に続く石段を見上げて、とても上るのは無理と早々に引き返しました。「昭和電工」の守衛に挨拶して、大淵寺へ向かう。この寺は、難病にかかった僧・宝明に弘法大師が観音像を彫りこの僧に与えたところ、この像のおかげで病気が治り、宝明はお堂を建ててこの観音像を祀ったのが始まりと言われている。この後、電車で影森から秩父へ向かったが7名の方が途中の御花畑で下車(帰宅)し、10名で秩父神社を参拝する。16:00頃当神社にて解散する。  
(注)琴平神社で2名合流する。

**2.懇親会** 秩父駅前「ぶぶすけ」にて、7名で懇親会を行った。

送付先(郵送) 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-17-13 TMYビル10F  
FAX番号 03-6240-9382 Eメール [jarip@isis.ocn.ne.jp](mailto:jarip@isis.ocn.ne.jp)

記念写真(1) 琴平神社前(秩父札所巡り)



円融寺 / 大淵寺の護国観音像

